

東はりま甲南会報

東播磨甲南会

会長 三宅 隆宏

有限会社共立サービス
取締役会長
(経営学部 昭和41年卒)



左より、長坂学長・三宅会長・佐藤教授

大学が進めようとしている“人生100年時代構想”における大学の役割”と“地域連携”に私達も大きく関わり協力していく。

大学の発展、ブランド力アップに協力出来る事はとても嬉しい。特に私の様に100才を目指し、森滋郎初代東播磨甲南会会長(99才永眠)の「120才寿命論」を信じ実行している者には興味津々のテーマだ。

直近、長坂学長との2回の面談で分かった事は、大学が大きく前進し変わろうとしていることだった。2年前の授業料10万円アップにも拘らず受験生が増え、競争倍率が大幅アップした。この財源でより積極的に学生の為にいろいろな投資が出来ると夢を膨らませて熱く話して下さいました。大学を愛し情熱改革の人、頼もしい限りだ。我等も長坂学長を陰ながら支援し、甲南大学の発展に寄与していきたい。

今年の東播磨甲南会

総会も甲南大学・加古川市・神戸新聞社の連携を側面から支援する形で昨年に続いてシンポジウムを行う。

大きな目玉は岡田加古川市長のご登壇と、よりオープンな場とするため会員以外の方々にもご参加いただくことだ。

第21号

発行

東播磨甲南会

【事務局】

〒675-0017
加古川市野口町
良野365-11

行政書士澤本事務所
澤本武司 気付

TEL 079-421-1747
FAX 079-439-2842
E-mail
sawamoto@gyosei.or.jp

今年度総会の御案内

日時 ●平成30年6月2日(土)
午後5時より
会場 ●加古川プラザホテル



学校法人 甲南学園

理事長

吉沢 英成

東播磨甲南会の皆さま いつも母校発展にお心配りいただきまことにありがとうございます。

甲南学園創立百周年まであと一年、今年度は百から一を抜いた白寿の年にあたります。人間の年齢では大変お目出度い歳でお祝いする伝統があります。学園もこの白寿を百周年へとつながる



甲南大学 同窓会

会長

立野 純三

株式会社ユニオン
代表取締役社長

東播磨甲南会の会員の皆様、平素は大学同窓会の活動に多大なるご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

甲南大学同窓会は昨年、「同窓会設立60周年」としましては、「祝60周年 未来へ!」をテーマにユニバーサルスタジオ・ジャパンでのイベントや甲南大学岡本キャンパスに新しく出来たアイコムズでの「記念祭」等を開催致しました。各地甲南会・評議委員の皆様にご協力を賜り今迄にない多くの同窓生に参加して頂く事が出来まし

お祝いの年に、そして甲南新世紀教育の飛躍への助走の年としたいと思います。

お陰さまで昨年九月に、甲南新世紀教育の場・KONAN INFINTY COMMONS(愛称i・コムズ)が完成、学生たちにも親しみをもって活用され新しい甲南教育へのスプリング・ボードとなっています。卒業生の皆さまにも今様の知の故郷となること確実です。ぜひ皆様のご来学を心待ちにしております。その折には100周年記念バッジを胸につけていただければ、ありがたいことです。

た。感謝申し上げます。

今年度は、昨年度の大学同窓会60周年の勢いを今年に繋げて、より多くの同窓生に参加して頂く同窓会となり、会則の「会員相互の親睦通じ甲南学園および会員相互発展に寄与する」という目的を達成して、「誇り高し我々の絆を未来へ繋げる同窓会」にしていきたいと思えます。そのために「リボーン61(reborn 61)！」とテーマを定めて2019年(平成31年)の学園100周年に向けてのステップの年にします。皆様には是非ご協力頂きたくよろしくお願い申し上げます。

東播磨甲南会の皆様が、三宅会長を中心に力を合わせ、より貴会が発展されることを祈念致しています。

東播磨甲南会 第26回総会のご案内

- 日時
平成30年6月2日(土)
シンポジウム 午後5:00~
総会 午後6:30~
懇親会 午後7:00~
- 場所
加古川プラザホテル・2F
TEL 079-421-8877

- 会費
男性 6,000円
女性 4,000円
※新入会の方は入会金、1万
円のみ。シンポジウム
のみに出席の方は無料と
なっています。
- 服装
カジュアル
(ノーネクタイ、ジーンズOK)

『人生100年時代における学びと地域の活性化』

—卒業生・大学・メディアの関係づくり—

《パネラー》

加古川市長

岡田康裕氏

甲南大学 学長

長坂悦敬氏

神戸新聞社

地域連携室長

阪本浩之氏

こちらのQRコードから
東播磨甲南会のHPが
ご覧頂けます





加古川「知」を結ぶプロジェクト

行政・大学・地元メディアによる

地域課題解決



平成30年1月13日(土)、加古川総合保健センターウエルネージュホールにて加古川「知」を結ぶプロジェクト(行政・大学・地元メディアによる地域課題解決)の成果報告会が開催された。

「当日の様子・参加者」

本年度の加古川「知」を結ぶプロジェクトは前年度よりも更に規模を拡大し、経営系以外の学部である文学部歴ラボ、そして知能情報学部岳ゼミも参加したこと盛況となった。学生達は協力企業・団体から提案のあった課題について、それぞれの専門分野を生かした研究を行い、解決方法を成果報告会にて提案・発表した。

本プロジェクトは主催加古川市、甲南大学、共催神戸新聞にて開催しており、今回のプロジェクトに協力した企業・団体等は、加古川観光協会、前川建設株式会社、株式会社ワンピース、ハマダコンフェクト株式会社、株式会社兵庫センイ・ソックス、加古川市商店街振興組合連合会、鶴林寺、かつめし、いろはーず、丸万本店、E den(エデン)、いろは食堂(ビストロ)である。

「発表内容」

株式会社を抱える若手の人材不足問題に関する提案を行った。問題解決に使用した手法はソリューションフォーカス(解決志向アプローチ)であり、悪い部分を探すのではなく良いところを伸ばすというアプローチである。企業分析から前川建設が100年企業であり持続力があること、道路舗装などの事業を行うなど地域密着型であり地元とのつながりが強固であること等に着目し、魅力的なパンフレットの作成を提案した。講評では、元気があって良かった。100年企業の共通点を出し提案していくとよいのではないかと意見があった。



経営学部西村ゼミ2年生は、加古川商店街連合会が抱える売上低下問題に関する提案を行った。SWOT分析(外部環境、内部環境の分析により経営資源の最適活用を図る)という手法を用いて問題を分析し、近隣にヤマトヤシキがあること、近年においてはモノ消費からコト消費へ移行しつつあることから、販売業だけでは厳しく、習字・ボールペン字やハンドメイドなど、女性(兼業主婦)の習い事教室が効果的ではないかという提案を行った。講評では、色々なデータを効率的に使っている。プレゼンも聴きやすく、

観光協会の抱える加古川の活性化問題に関する提案を行った。歴らほらしい視点で地元鶴林寺を分析し、駅前の宣伝が弱いこと、地図をより分かりやすくした方がよいこと、雅楽演奏会などのイベント企画など、複数の提案がなされた。講評では「鶴林寺」へ来て頂くのは良い。地図は「鶴林寺」というのが読めない人もいるため、ルビがあった方が良かったかもしれないという意見があった。

経営学部渡邊ゼミ3年生は、兵庫センイ・ソックスの抱えるグローバル競争激化問題に関する提案を行った。兵庫県は靴下の生産で国内第二位であるが、グローバル競争の激化により安価な海外製品が主流になり、それに伴う単価の下落が問題になっている。ビジネス・モデル・キャンパス(ビジネスモデルを複数の項目に基づき分析し、誰にどんな価値を提供するのかを明確にする)という手法を使い、インバウンド市場をターゲットとして、中国人などに日本製の価値を売り出していくとよいのではないかと提案した。講評では、様々なデータで丁寧に分析しており聴きやすかった。靴下と言っても多様であるため、どこに一番ニーズがあるのか絞り込みが必要ではないかという意見があった。

経営学部北居ゼミ3年生は、株式会社ワンピースの抱える部署間のつながりが薄い問題に関する提案を行った。問題解決にはSBI(対話により、共同で今後の方向性を構築する)という独自の手法と、AI(強みを知って未来像を構築する)という手法を用い、各部門の交流を盛んにしていく提案と実践を行った。講評では、SBIは興味深い。当事者意識を高めていくというのは勉強にもなった。ただし、テーマについてというところがプレゼンとして弱かったという意見があった。

知能情報学部岳ゼミ4年生は、加古川観光協会の抱える加古川の活性化問題に関する提案を行った。IT系の学部らしく、加古川の観光誘致システムを作成し、「かつめしと行こう!」加古川スタンプリ」を提案した。特に観光客の滞在時間に関する問題に取り組んでおり、10〜30代が昼食なしで加古川から帰ってしまうことに着目して名物のかつめしをPRした。講評では、情報発信の効率化からという所は素晴らしい。プレゼン慣れはしていないかも。理系ならではの視点であるという意見があった。

経営学部西村ゼミ3年生は、ハマダコンフェクト株式会社の抱えるブランド力の向上、認知度向上問題に関する提案を行った。問題解決にはサービスピロフェットチェーンという手法を使い、顧客の細かな分析から女性に健康機能食品でアプローチするのが良いことを導き出した。また、加古川マラソンに協賛し、ブースでプロモーションを行うのが効果的であるという提案も行った。講評では、全体として非常に聞かせる良いプレゼンだった。あれだけ本音を聞くのは大変だったのではないかと意見があった。

審査では、最優秀賞に西村ゼミ3年生(ハマダコンフェクト株式会社)、加古川市賞に西村ゼミ2年生(加古川商店街連合会)、甲南大学賞に岳ゼミ4年生(加古川観光協会)、神戸新聞社賞に北居ゼミ3年生(株式会社ワンピース)が選ばれた。

成果報告会后、東播磨甲南会三宅会長の計らいで懇親会が開催された。昨年と同様に終始和やかなムードで交流を深め、閉会となった。



会員企業紹介

企業訪問第6回目の今回は、有限会社プロツサム 日坂祐介さん(30歳)にお話を伺いました。

「唯一無二の花屋に」

甲南大学を選んだポイント
 伝統があり、学生が多い大学だとは思っていません。また、自宅から通うには交通の便も良かったのがポイントでした。

どんな学生生活でしたか

アルバイトを熱心にしてきたため5年かかって卒業となりました。アルバイト先では、他大学の学生と友達になり、飲みに行ったり、夜のボーリングなど楽しんでいました。今でも付き合ひがあり、飲み会や旅行に行く予定です。1年生のときに学生会館の管理運営に携わり、学祭のステージ企画に参加しました。企画には10人ほどのメンバーがおり、そのリーダーとして活動したことも思い出深いです。ステージ企画ではガリガリガリクソンの漫画のMCやボーイズコンテストも同時開催しましたね。大道具の作成も自分たちで行うなどとても大変でしたが、「人を集めるにはどうするか」「人をまとめる大変さ」など貴重な経験をさせてもらったと感謝しています。



最近の花の話題について

プリザーブドフラワーというものがあります。生の花を特殊な液体に浸し作るのですが、色も鮮やかで花も長持ちします。若い人や主婦に人気があります。花とが小ぶりなものが多く、持ち運びしやすく、プレゼントにも最適です。



フラワースクールについて

10歳代から60歳代、70歳代まで幅広い年齢層の方に来ていただいています。スクールは2週間に1回程度の周期のコースもあり、花のある生活を楽しんでいただきたいと思い開催しています。コースは「エンジョイコース」、「プリザーブドフラワーコース」、「デザインコース」、「NFD資格コース」等があります。講師には専任の社員がいます。是非皆さんにも花のある生活を楽しんでいただければと思います。

様々な賞を受賞

父である社長が海外を含め色々なコンテンツトで入賞しており、身近に接している自分にはエントリしており、一昨年前には全国大会の準決勝まで進みました。

今後の目標について

人が住んでいる住宅地に出店を進めたいと考えています。神戸市内在りかと思われています。また、スクールの来てくれた方にはコーヒーやお茶を飲んでいただき、人と話す場を提供していきたいとも思います。将来は「唯一無二の花屋」を作りたいと思っています。皆さんもどうぞお気軽に立ち寄ってください。



会社への入社
 卒業後すぐに入社しました。就職活動もしましたが、自営の花屋を継ぐことも頭の片隅にありました。人に言われてするようにな仕事はいやだと思っていましたし、自分で思う仕事をしたいという希望はありました。「花屋をするか」という感じでしたね。卒業後、両親に「花屋に入りたい」と伝えたくて、内心、喜んでくれたのではないかと思います。

生花店の魅力は

花が持つ「癒し」、植物がある生活の魅力を伝えられること。人の心を動かす商品、自分の気持ちを込めて贈る花のギフトを広げていきたいですね。昔は「生け花」を習う人も多かったのですが、最近は少なく、若者の花離れが進んでいるように感じています。人生の節目に花を贈る「人生に花束を」ということをプロツサムオリジナルとして形にしたいと考えています。

本日はありがとうございました。

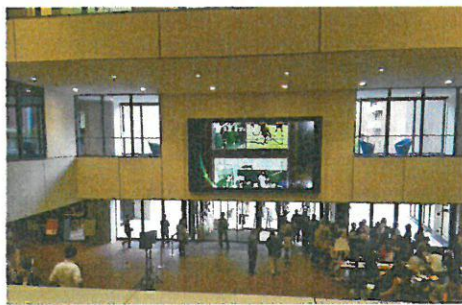
i Commons
 (アイコモンズ)竣工
 甲南学園創立100周年にむけて

平成29年9月、甲南学園100周年事業の一つとして、岡本キャンパスに「KONAN INFINITY COMMONS (i Commons)」が誕生した。

旧食堂施設が完全に生まれ変わり、14000㎡の巨大な建物の中に、食堂・レストラン、カフェ、多目的ホールなどの他、ダンスホール、茶室、キッチン、最近流行りのボルタリングまでもが設置されている。

アイコモンズに入っただけ、吹き抜けのある大空間(Agora)には巨大なディスプレイが展示されており入口のステージが映し出されている。イベント期間、このステージではダンスや太鼓などの様々なショーが開催される。

食堂であるHirao Hallは、座席数1300を誇る巨大な交流スペースとなっており、学食とは思えないクオリティの食事が楽しめる。また、利用者の健康にも気が配られている。食事のレシートには注文したメニューのカロリーや栄養成分が記載されており、バランスの良い食事を取ることが可能だ。



2階以上には学生ラウンジ、フィットネス、スタジオなどが入っており、4階のブックカフェではドリンクを飲みつつ読書が出来る。ここでは甲南大学オリジナルコーヒーなども販売している。

ゴルフコンペ

開催のご報告



平成29年11月15日 水曜日 加古川ゴルフ倶楽部におきまして、参加者11名による第11回東播磨甲南会ゴルフコンペを開催いたしました。初参加は日29入学・経営大学院の亀井紳さん。ほかほか陽気、快晴のコンディションの中、各組がスタートして

きました。最近、ゴルフ三昧で体調良好の三宅会長が久々の参加でした。いつもの和やかなムードで3組でのプレーは不測の事態も起こらず、滞りなく進みました。ダブルペリア方式による優勝は、岸本明広さん。2位 三宅隆宏さん。3位 大庫俊介さん。優勝賞品は同窓会設立60周年を記念した赤白ワインのセット。参加メンバーの小山利明さん、丹後昌博さんより当日協賛をいただきました。また、参加いただけなかった2号線ゴルフのお姉さんからも、賞品の協賛をいただきました。

次回第12回ゴルフコンペは小野ゴルフ倶楽部でのコンペを予定しております。11月の何かとイベントの多い気ぜわしい時節ではありますが、紅葉も楽しめるこの時期に年一度の開催を継続しています。皆様のご参加よろしくお願ひします。(担当・澤本)

東播磨甲南会ゴルフコンペ収支の件

項目	収入	支出
参加費	¥5,000×11名 =¥55,000	
賞品協賛 (小山、丹後、古川)	¥11,000	
賞品代		¥30,156
会食代		¥28,554
コンペ案内用書		62円×45枚 =¥2,790
東播磨甲南会へ		¥4,500
合計	¥66,000	¥66,000

平成29年度事業報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

- 平成29年 5月 1日 機関紙「東播磨甲南会報」第20号発行
- 平成29年 9月23日 明石甲南会「設立10周年記念祝賀会」出席
- 平成29年 10月15日 「オール甲南の集い」出席
- 平成29年 11月15日 ゴルフ同好会親睦コンペ開催
- 平成29年 12月 9日 加古川「知」を結ぶプロジェクト 成果中間報告会出席
- 平成30年 1月13日 加古川「知」を結ぶプロジェクト 成果報告会出席

平成29年度会計報告

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

入会金(7名)	70,000	総会費	245,618
臨時会費	220,000	機関紙発行・送付費	118,239
支部援助金	315,096	甲南学園100周年募金	100,000
預金利子	5	他甲南会参加費	10,000
歳入		事務所費	500
ゴルフ同窓会より寄付	4,500	コピー代・切手代	1,270
前年度からの繰越金	638,168	事務用品	2,350
合計	1,247,769	BAN-BANnet使用料	10,000
		加古川「知」を結ぶプロジェクト交流会費	16,068
		次年度への繰越金	743,724
		合計	1,247,769

※上記の通り、収支は正確であると認めます。監査人 西尾 淳

平成30年度事業計画(案)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

- 平成30年 5月1日 機関紙「東はりま甲南会報」第21号発行
- 平成30年 6月2日 総会
- 随時
 - ・友好支部総会へ表敬訪問
 - ・幹事会、役員会
 - ・ゴルフ同好会親睦コンペ開催

平成30年度予算(案)

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

入会金	40,000	総会費用	250,000
臨時会費	230,000	機関紙発行、送付費用	170,000
支部援助金	160,000	他甲南会参加費	20,000
預金利子	5	事業費(加古川「知」を結ぶプロジェクト外交流会費他)	40,000
歳入		次年度への繰越金	693,729
前年度からの繰越金	743,724	合計	1,173,729
合計	1,173,729		

東播磨甲南会 役員組織(案) (平成29～31年度)

会長 三宅 隆宏 (S41経営)
顧問 渡邊 東 (S40経済)
幹事長 栗山 隆博 (S62文)
副幹事長 大庫 良一 (S54経済)〔筆頭〕
 中尾 知也 (S50法)〔総務担当〕
 大庫 俊介 (S46文)〔地区担当〕
 松本 浩一 (S49文)〔広報担当〕
会計 榎谷 有美 (H3経営)
監事 西尾 淳 (S39経営)
 中川 智章 (S39法)
同窓会
本部理事 富居 雅人 (S62文)

〔総務委員会〕
委員長 岩崎 泰央 (S62法)
副委員長 籠谷 紘義 (S40経営)
 藤原 武彦 (S60経営)
〔地区委員会〕
委員長 井奥 貴子 (H3経営)
副委員長 丹後 昌博 (S54法)
 澤本 武司 (H6理)
〔広報委員会〕
委員長 新濱 義孝 (S62理)
副委員長 岸本 明広 (S58法)
 森 正英 (H26FS)

入会のご案内

- 目的…甲南大学同窓会の東播磨支部として、本部及び大学との連絡を密にするとともに会員相互の親睦を図り、母校の発展に寄与する事を目的とする。
- 入会資格…甲南学園卒業生で加古川市、高砂市、加古郡及びその近郊に在住、勤務。
- 入会金…終身会費1万円(初回のみ)
- 入会方法…総会時受付で申し出ていただくか、直接事務局へ。
- その他のご負担…総会・行事等毎に参加者からそのつど臨時会費(実費)を頂きます。

編集後記

昨年から始まった加古川「知」を結ぶプロジェクトは本年度、経営系以外の学部も交えて更に大きなプロジェクトとなった。これは企業や団体の問題を掘り下げ、それを解決するものであるが、複数の学部の参加により解決方法に幅が出てきた。個人的にはあるが、これは非常に良いことだと思ふ。組織というものは常になんらかの問題を抱えておりその解決が必要となるが、解決策というものは持ち得るスキルによって様々だからだ。複数の学部が参加すれば、スキルのバリエーションは飛躍的に増える。今回は加古川観光協会が知能情報学部と文学部という異色の系統の学生と連携したことで、全く異なる解決策が2つ生まれた。今後はこの組み合わせ効果にも注目したい。地元加古川、そして母校の発展のために、私も微力ながら協力していきたいと思ふ。

(M・M)

■事務局

〒675-0017
 加古川市野口町良野365-11
 行政書士澤本事務所 澤本武司 気付

東播磨甲南会

TEL 079-421-1747
 FAX 079-439-2842
 E-mail sawamoto@gyosei.or.jp